



本村自治会敬老会

平成26年9月14日/15日に富水地区の敬老会が各自治会で開催されました。本村自治会・若宮自治会・飯中自治会・仲沢自治会の敬老会を紹介します。自治会の各会場では、式典、演芸会が催され子供会の皆様に参加して「おじいちゃん・おばあちゃん敬老会おめでとう。これからも元気で長生して下さい」




仲沢自治会敬老会



飯中自治会敬老会

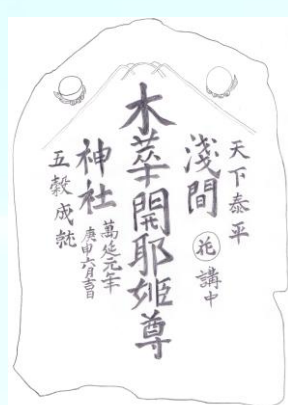


若宮自治会敬老会




もっと知りたい！ わがまち富水

富士講碑 (飯田岡586 飯田岡駅西南約200m)



← 木華開耶姫尊 歌碑 道祖神

このはなさくやひめのみこと



↑ 木華開耶姫尊 歌碑 道祖神

歴史的遺産

は飯田岡駅から小さな旧道を西に進み旧県道に出る手前がある。◎講中が万延元年(1860年)に建てた総高約170cmの碑には近在30か村416名と西相模の富士講碑で最多数の氏名を記しているのが特色である。右手の欠損した富士講歌碑は三竹・矢佐芝の13人による建立。道祖神もある。』(『身近にある小田原の史跡』より)

碑の裏面一杯に講員の氏名が細かく刻まれ、当時の富士山信仰がいかに盛んであったかを、そして今尚その熱い志を感じるようである。また表面に彫られた富士山の両脇に太陽☉と月☾を配してあるのが興味深い。

『慶長十一年(1606年)陽雲寺周辺の火災により本堂ともに“子安無量光如来”も失ったと思われていた。ところが、隣村にあった楠の古木の洞にその如来尊像が麗麗として籠られていたそうである。楠は朽ちてしまったが、その里は現在『楠』と云う呼び名になっている。』

(参考：陽雲寺『子安無量光如来』説明文)

・位置：飯田岡の西端に位置する。大雄山線飯田岡駅周辺、旧県道より東側の地区―小字・向河原

・「楠」と云う名の由来：その由来は、北ノ窪にある安産祈願の寺として知られる陽雲寺の本尊・子安無量光如来にまつわる逸話に関りがあると言う。

楠

くすのき